別記様式第四

表1

療　養　補　償　請　求　書

					請求第　　回	
殿 河川法第　条の規定に基づき、次のとおり療養補償を請求します。			請求年月日		年　月　日	
			請求者	住所		
				ふりがな 氏名		
従事者	住　所		生年月日	年　月　日		男・女
	ふりがな 氏　名		職　業			
事故	(事故発生の場所)		(事故発生の日時) 年　月　日　前後　時　分			
	(事故又は疾病の発生の原因及びその状況)					
請求金額	合　計					円
	内訳	診療費	内訳は「医師等の証明」欄記載のとおり。			円
		看護料	□看護婦　年　月　日から □付添婦　年　月　日まで		日間	円
		移送費	(交通費) から　まで　キロメートル	□片道 □往復	回	円
			(その他の移送費)			円
		その他の療養費				円

表2

<table>
<tr><td colspan="5">※　医師等の証明</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(傷病名)</td><td colspan="3">診療費の内訳</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">項　目　内　訳　と　記　入　欄</td><td>金額(円)</td></tr>
<tr><td rowspan="11">(傷病の経過)</td><td rowspan="4">診
察</td><td>初　診</td><td rowspan="4"></td><td></td></tr>
<tr><td>再　診</td><td></td></tr>
<tr><td>往　診</td><td></td></tr>
<tr><td>療養指導</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">投
薬</td><td>内用</td><td>普通薬
特殊薬</td><td rowspan="3">(薬品及び使用量)</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>外用</td><td>(種類)</td><td></td></tr>
<tr><td>注射</td><td colspan="2">(種類)</td><td>(回数等)</td><td></td></tr>
<tr><td>処置</td><td colspan="2">(処置名)</td><td>(回数等)</td><td></td></tr>
<tr><td>手術</td><td colspan="2">(手術名)</td><td>(回数等)(施行年月日)
年　月　日</td><td></td></tr>
<tr><td>検査</td><td colspan="2">(検査名)</td><td>(回数等)</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">レゲンント</td><td colspan="2">透視診断</td><td rowspan="4">(フィルムの大きさ、枚数等)</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">写真診断</td></tr>
<tr><td colspan="2">撮　影</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">(現在の状態)
年　月　日
□治　癒　□死　亡
□中　止　□継続中
□転　医</td><td>理療学法</td><td colspan="2">(療法名)</td><td>(回数等)</td><td></td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">(診療期間)
年　月　日から
年　月　日まで
日間
診療日数　　日</td><td rowspan="4">入

院</td><td>入院期間</td><td>年　月　日から
年　月　日まで　　日間</td><td></td></tr>
<tr><td>看　護</td><td>□一類　□二類　□三類</td><td></td></tr>
<tr><td>給　食</td><td>□基準　□普通　□無</td><td></td></tr>
<tr><td>寝具その他</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">診療費の合計</td><td>円</td></tr>
<tr><td colspan="5">上記の事項は事実と相違ないことを証明します。
年　月　日
医療機関の{所在地
名称
医師又は歯科医師氏名</td></tr>
</table>

備考

1　用紙は、日本産業規格A4の寸法のものとすること。

2　請求者は、※印の欄は記載しないこと。該当する□にレ印を付け、「男・女」及び「前後」については、該当するものを〇で囲むこと。

3　「第　条」の箇所には、根拠条文を記載すること。

4　「請求第　回」の欄には、同一傷病についての請求回数を記載すること。

5　「その他の療養費」の欄には、入院料に食事料を含まない場合の食事料、療養に必要な治療材料等の名称、種類及び費用等を記載すること。